

南鳥羽地区における藻場の現状と 藻場再生への取り組み

南鳥羽地区藻場保全活動組織

鳥羽について

4つの有人離島

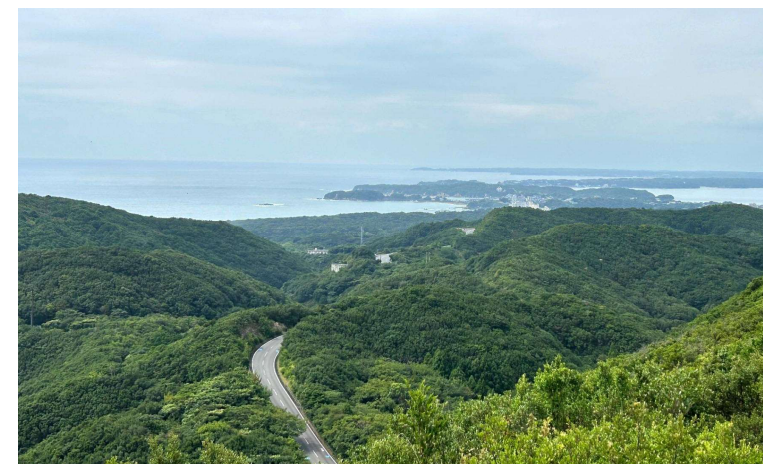
- ・菅島
- ・答志島
- ・神島
- ・坂手島



出典：一般財団法人伊勢志摩国立公園協会



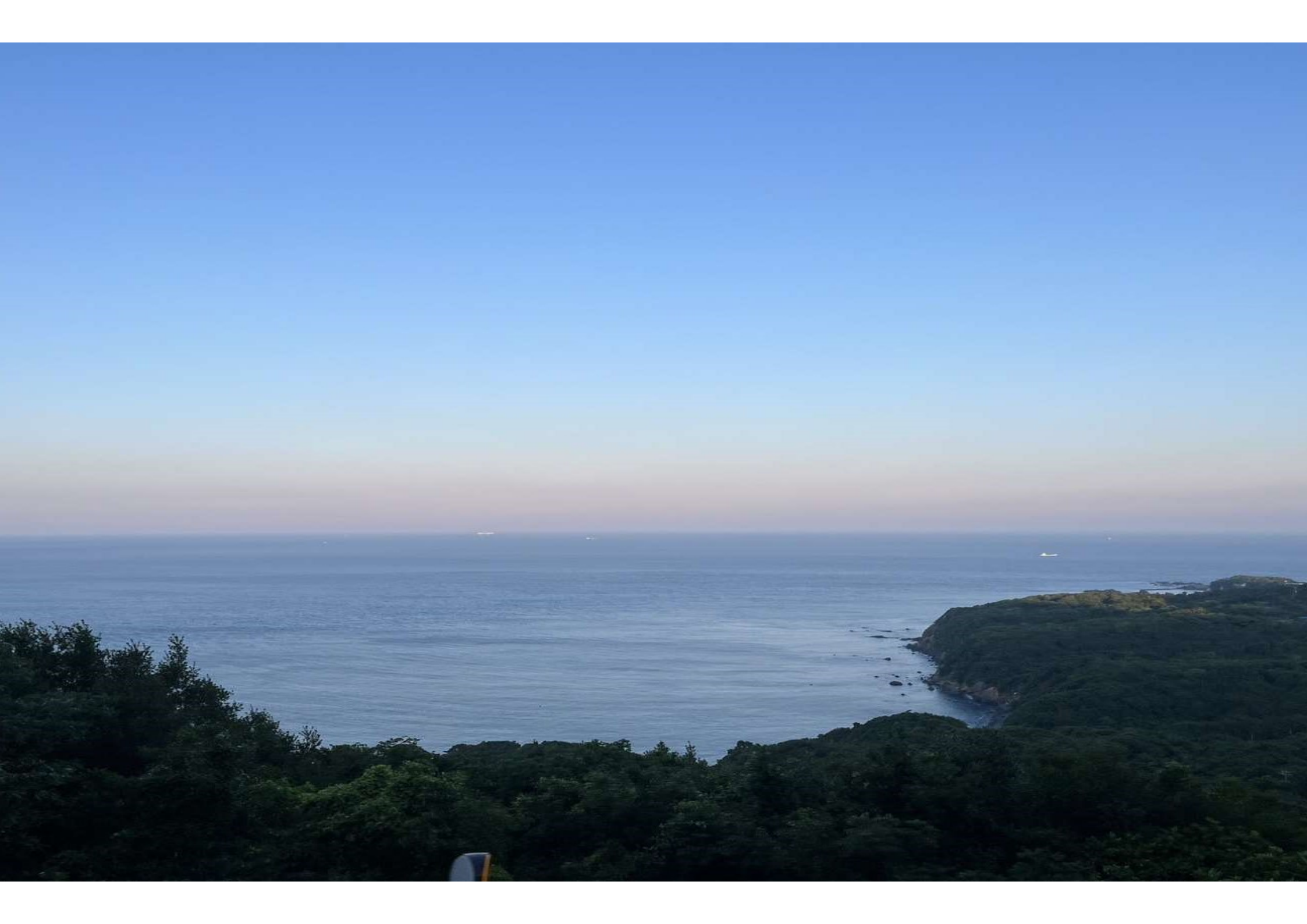
出典：鳥羽市観光協会



い せ し ま

伊勢志摩国立公園







出典：毎日

地域の特性

- 「日本一海女さんの多いまち」
- リアス式海岸

海藻の種類	アラメ・カジメ場、ガラモ場、アマモ場
海藻の利用	アラメ・テンクサ・ノリ養殖・ヒジキ・アカモク・アオサ等
漁業	刺網、海女漁、一本つり、たこつぼ、小型底びき網、船ひき網・ぱっち網漁業

地域の藻場の現状



2012年2月撮影

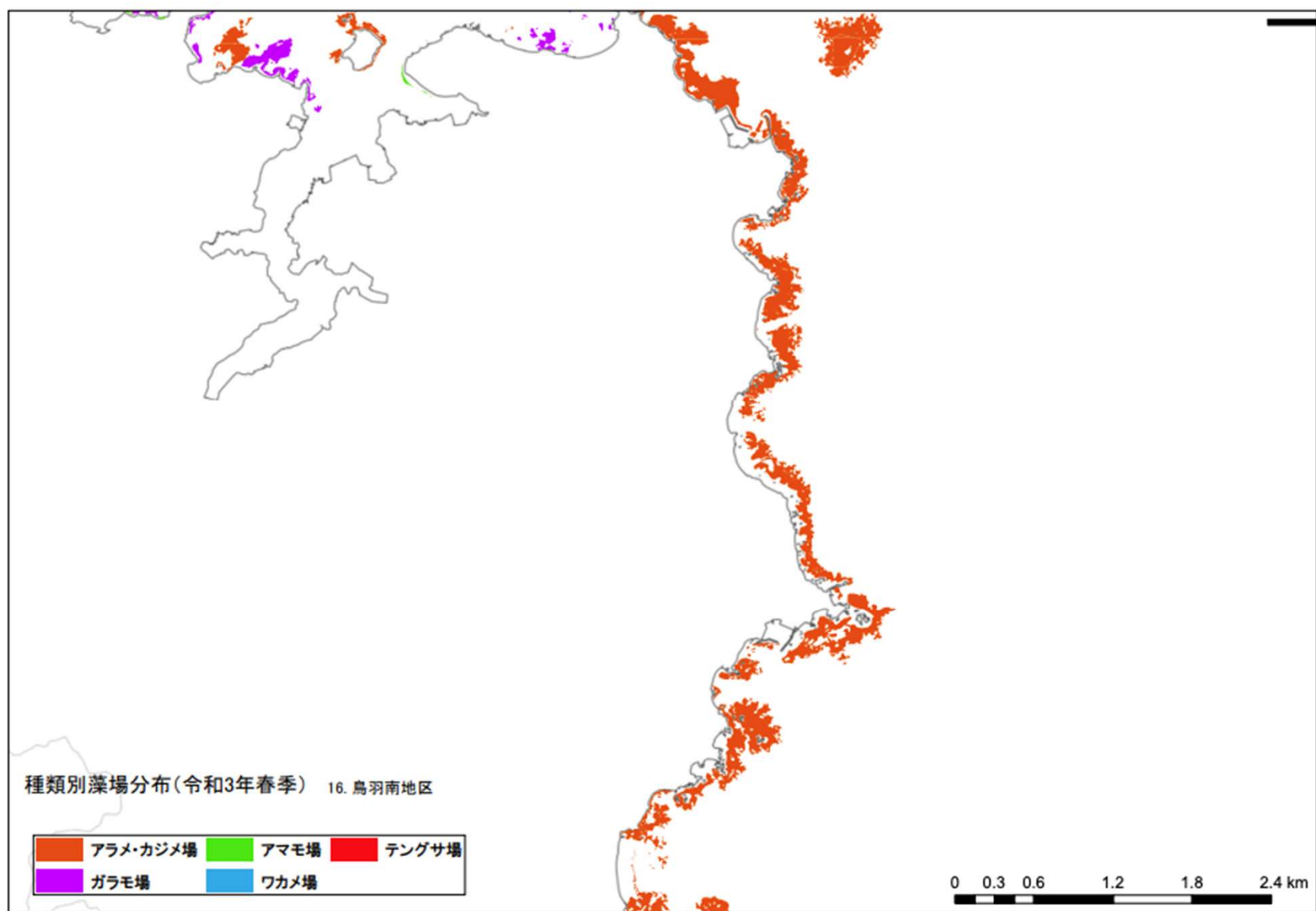


2022年10月撮影

引用「sustainableTOBA」<https://toba.or.jp/sustainability/facts/decrease-in-seaweed-b>

「ナガシマモク」







食害生物とされている生物



ガンガゼ



ムラサキウニ



アイゴ

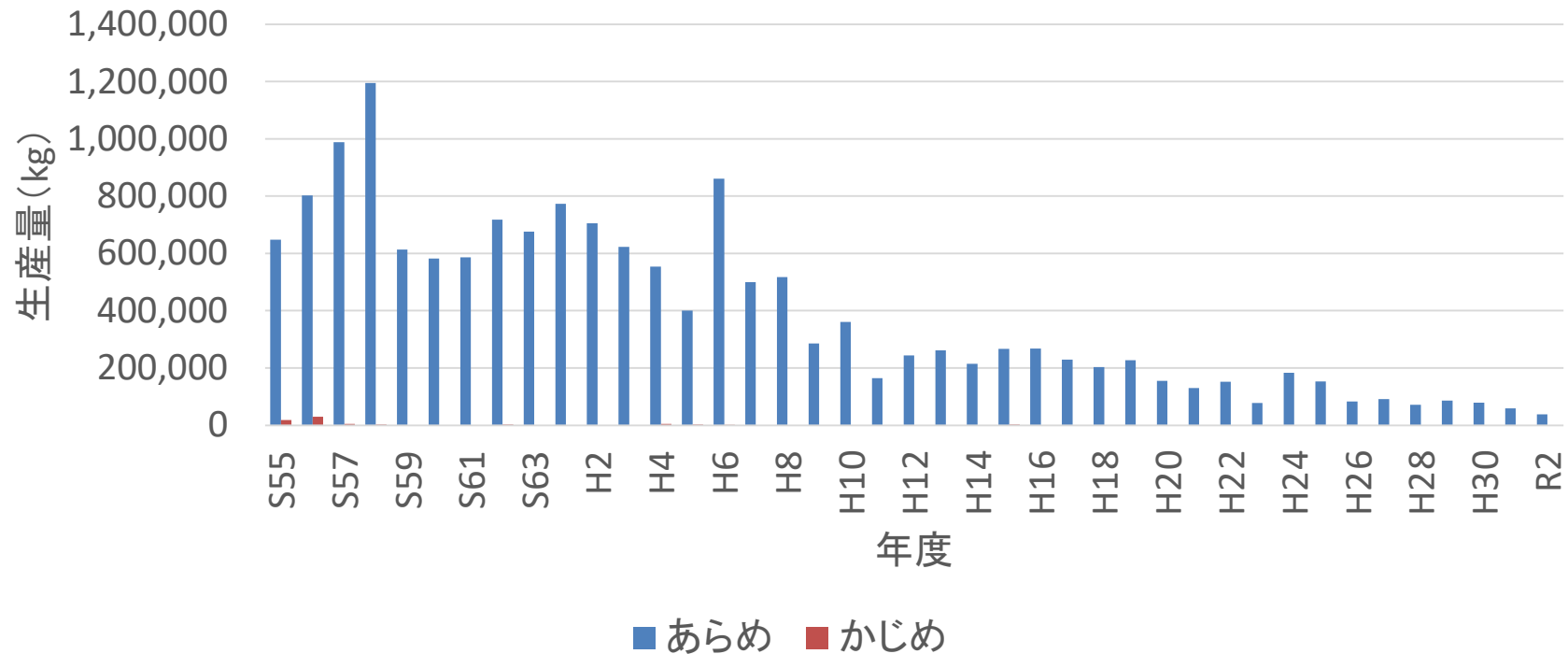


保護網



漁業への影響

三重県のあらめ・かじめの年度別生産量



各地で海中林が消滅しており、あらめ・かじめの生産量は年々減少している。昭和58年の1195 tをピークに、

令和2年は**38 t**まで減少。

他の生物にとっての海藻

- 藻場

- ー アマモ場

- 海草のアマモを主とする藻場
 - 浅い砂泥質海底に密生したところ
 - 魚の産卵場、稚仔魚の揺籃等

調査と活動の報告

- 環境モニタリングと食害生物の駆除を実施
- 海女さんへのヒアリング
- 藻場調査の方法
 - 工夫した点：被度調査を簡略化し、沿岸を広く調査した

漁業者との連携

- 海女さんとのウニ駆除
 - 工夫した点：海女さんたちみんなで一斉にウニを回収



撮影：松村瑠璃佳



撮影：松村

藻場の利活用

- 里海事業 藻場～生物多様性を地域資源として活用する
 - － 海洋教育
 - － 海女観光プログラム
 - － →持続的に地域で藻場保全・保護活動ができる仕組みづくり





